Panasonic®

取扱説明書

保管用

エバーライト投光器（屋外用）

品　　番	適合ランプ	器具組込時のランプ光色
ＹＥＶ４２５６６	エバーライト１４０（白色）	昼白色タイプ (4400K-5100K)
ＹＥＶ４１６８１Ｍ	エバーライト５０（白色）	

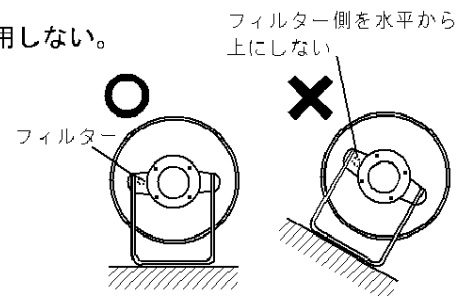
・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。 施工は必ず工事店に依頼してください。

施　工　説　明　工事店様へ、施工完了後お客様へ操作方法を説明したうえで、この説明書を必ずお渡しください。

安全に関するご注意

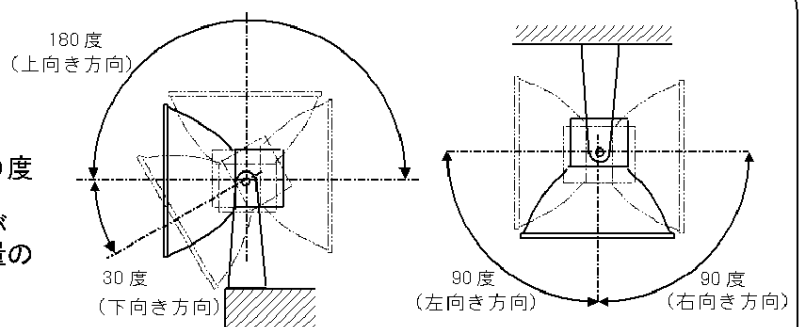
⚠ 警告

●施工は、取扱説明書にしたがい、確実に行う。施工に不備があると、発火・感電・落下の原因となります。
●接地工事（Ｄ種接地工事）を確実に行う。接続に不備があると感電の原因となります。【電気設備技術基準】
●器具の改造は、絶対に行わない。発火・感電・落下の原因となります。
●振動や衝撃の多い場所（橋や高架上等）、腐食性ガスの発生する場所、塩素を使用する屋内プール等、海岸隣接地域では使用しない。発火・感電・落下の原因となります。
●口出線との接続は、スリーブ等により確実に行い、自己融着テープを巻いてから、絶縁テープを巻いて仕上げ、十分に絶縁・排水処理をする。接続に不備があると感電の原因となります。
●器具表面が高温になりますので、人が容易に触れるおそれのある場所では使用しない。やけどの原因となります。
●草や木で器具が覆われるような場所では使用しない。発火の原因となります。

●屋外・軒先で使用時、フィルター側を上にして設置すると、雨水が器具内に入る恐れがあります。器具貼付けの注意ラベルに従って取付ける。指定外の方向に取付けると浸水による感電・火災の原因となります。
●被照射面とは１０cm以上離す。過熱による発火の原因となります。
●大雨等で冠水する恐れがある場所には取付けない。感電の原因となります。

⚠ 注意

●この器具は一般屋外用（防雨形）です。それ以外の場所では使用できません。発火・感電・落下の原因となります。
●６０ｍ／ｓ仕様です。これ以上の風速の影響を受ける場所では、使用しないでください。器具落下の原因となります。
●表示された電源電圧（定格電圧±６％）以外の電源で使用しないでください。感電・発火の原因となります。
●周囲温度３５℃以上での使用はしないでください。又、施工時の一時的な点灯確認以外は日中点灯はしないでください。不点や発火の原因となります。
●周囲温度－１０℃以下での使用はお奨めできません。明るさが得られない場合があります。
●始動時に突入電流（インラッシュ電流）が発生しますので、弊社製配線器具に接続できる灯具台数は、承認図又は施工手順の３を参照してください。発火の原因となります。

使用上のご注意

●照射方向を下向きにする場合は、取付部（コンクリート面等）と回転台との位置関係を図のようにして、反射鏡が取付部に触れないようにしてください。
●首振り角度は水平より
器具下置き：（下向き）３０度、（上向き）１８０度
器具上付け：（左右）９０度でご使用ください。
●ご使用中にガラスや反射鏡が、若干白く曇る場合があります。シリコンゴムパッキンから発生する微量の揮発ガスですので、異常ではありません。
柔らかい布等で拭いてからご使用ください

他システムとの相互干渉について
●入退室管理システムなどに用いられているRFID機器の近傍では、RFID機器が動作しにくくなる場合があります。
目安として器具から4m以上離れるよう設置ください。
●車載用キーレスエントリーシステムの近傍ではドアの開閉など、動作しにくくなる場合があります。
目安として器具は車のドアから2m以上離れるよう設置ください。
●電力線搬送通信PLCの通信用電力線近傍では、通信速度低下など通信に影響を及ぼす場合があります。
●テレビ用電波の弱い地域では、テレビアンテナの近傍は避けてください。テレビにノイズが発生する場合があります。
目安としてアンテナから2m以上離れるよう設置ください。

各部のなまえと取付けかた
これは一部簡略化した図です。
反射鏡
ランプ
本体
蓋
接地端子
口出し線
3
4
落下防止
ワイヤー
落下防止
緩み止め金具
六角ナット４個（別途）
バネ座金２個（別途）
平座金２個（別途）
アーム
2
六角ナット（２個）
・座金
（別途）
位置決め
六角ナット（２個）
（別途）
1
取付ボルト
M１０
（別途）
100mm
35mm
200mm
5
取付ボルト
（落下防止ワイヤー用）
（M１０）（別途）
5
落下防止
ワイヤー
本体
5
本体
落下防止
ワイヤー
落下防止
緩み止め金具
引っ張る
・落下防止ワイヤーを矢印の方向に
十分に引っ張り、本体にだぶつかない
ようにする。
・落下防止緩み止め金具で止める。
3 配線処理を行ってください。
口出し線
アース線
自己融着テープ（別途）
絶縁テープ（別途）
接続部を自己融着テープで処理し、
絶縁テープでテーピングする。
スパイラルチューブ
（別途）
スパイラルチューブを覆わせる。
絶縁テープ
（別途）
絶縁テープでテーピングする。
・鳥害等の保護のため、口出し線・電源電線にスパイラル
チューブ（別途）を覆わせて テーピングを行ってください。

⚠警告

施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。
不備があると落下・感電・火災の原因となります。

1 取付け前の確認

・器具質量に十分耐えるよう、ボルト取り付け部の強度を確保する。

2 器具を取付ける

・取付ボルトにアームを取付け、平座金、バネ座金、六角ナットで確実に固定する。　推奨締付トルク（Ｍ１０：２４Ｎ・ｍ）

3 口出し線に電源電線を結線する。

接続台数に制限があります。右下表を参照し必ず接続台数以下でご使用ください。

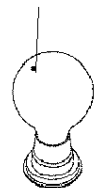
誤結線がありますとエバーランプ破損の原因となります。

・接地端子を使用してＤ種（第三種）接地工事を行ってください。

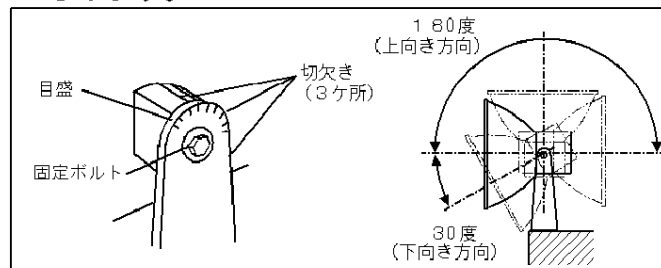
接地が不完全な場合、感電の原因となります。

・口出し線との接続はスリーブ等により確実に行い、自己融着テープ・絶縁テープで十分に防水してください。
・鳥害等の保護のため、口出し線・電源電線にスパイラルチューブ（別途）を覆わせて テーピングを行ってください。

不備がありますと感電・発火の原因となります。

■初期点灯黒化について
点灯初期に発生する現象です。
管内の水銀がバルブ上部に付着することによって起こります。
点灯中は、温度の上昇によって水銀が蒸発し、黒化は消えます。
点灯後、再度黒化が発生することがありますが、点灯を続けることで黒化は減少します。
この現象は、ランプの寿命や特性には影響ありません。

4 照射角度の調整

・照射角度の鉛直角は固定ボルト（２ヶ所）をゆるめてアームの目盛の角度を合わせ、固定ボルト（２ヶ所）を確実に締め付ける。
・下図内の切欠き（３ケ所）を目安に、目盛と合せて角度調整を行う。

締め付けが不完全な場合、器具落下の原因となります。

・始動時に突入電流（インラッシュ電流）が発生しますので、弊社製配線器具に接続できる灯具台数は下表を参照してください。

弊社製配線器具 ＼ 入力電圧 W数	AC100V		AC200V		AC242V		感度電流
	50W	140W	50W	140W	50W	140W	
１５Ａフルカラースイッチ	16台	9台	20台	7台	16台	6台	——
２０Ａフルパワーリモコンリレー	16台	9台	34台	19台	40台	21台	——
Ｔ／Ｕ付６Ａリレーユニット	6台	4台	14台	8台	16台	9台	——
２０ＡリモコンブレーカＣＬ型	14台	7台	28台	15台	32台	17台	——
２０Ａカンタッチブレーカ	14台	7台	28台	15台	32台	17台	——
２０Ａコンパクトブレーカ	14台	7台	16台	6台	——	——	——
２０ＡＨＡブレーカ	14台	7台	28台	15台	——	——	——
２０Ａリモコン漏電ブレーカＣＬＥ	14台	7台	28台	15台	——	——	１５ｍＡ／３０ｍＡ
２０ＡカンタッチブレーカＢＫＦＥ	14台	7台	28台	15台	——	——	30mA
２０Ａコンパクト漏電ブレーカ	14台	7台	16台	6台	——	——	30mA
２０Ａ小型漏電ブレーカ	14台	7台	28台	15台	——	——	30mA

接続に不備がありますと感電・火災の原因となります。

5 落下防止ワイヤーを取付ける。

・落下防止ワイヤーの末端の輪にもう一方の金具をくぐらせ、本体に巻き付ける。（左図：各部のなまえと取付けかた参照）
・ワイヤーが本体にだぶつかないように、落下防止緩み止め金具で止める。
・器具質量に十分耐える天面に取付ボルト（Ｍ１０）を用意し、落下防止ワイヤーをＷナットで取付ける。

ランプ交換時の反射鏡の外し方

⚠ 警 告

ランプの脱着及び取扱い時は、落下・衝撃などによる破損に備え、安全のため眼鏡などを使用し目の保護を行う。

⚠ 注 意

●電気工事店などの専門家以外は、反射鏡を開けないでください。
●ランプの取付け、取外し時は必ず電源を切って作業してください。
●ランプに衝撃を加えないでください。
ランプが破裂し、ガラスが飛散する可能性があります。

① 落下防止ワイヤーを外す。

・落下防止緩み止め金具を外し、落下防止ワイヤーを外してください。

② 蓋をはずす

・蓋をとめているネジ（４本）をはずし、コネクターをはずしてください。
・内蔵落下防止ワイヤーに取付いている落下防止金具のネジをはずして、蓋をはずしてください。

注）蓋や反射鏡をはずす際は、部品が落下しないように注意して作業を行ってください。
不備がありますと落下の原因となります。

③ 反射鏡をはずす

・本体と反射鏡を取付けているダルマ穴のネジ（４ヶ所）をゆるめて反射鏡を回転させ、ゆるめたネジをダルマ穴からぬくように反射鏡をはずしてください。
・ランプが反射鏡にあたらないようにまっすぐ引き抜いてください。

不備がありますとエバーランプ破損によるけがの原因となります。

・点検後、逆の手順で確実に固定してください。

不備がありますと落下・感電・発火の原因となります。

ランプ交換は、ランプの取扱説明書に従って、作業を行ってください。

取　扱　説　明　　お客様へ、この説明書は必ず保管してください。

安全に関するご注意

より安全にお使いいただく為に
前ページもお読みください

下記事項をお読みになり正しくお使いください。誤った使い方をされると落下の原因になります。

⚠ 警告

●器具の改造及び、構成部品の交換をしない。発火・感電・落下の原因となります。
●ランプ点灯中及び、消灯後しばらくは前面ガラスが高温になりますので、触れない。
　やけどの原因となります。
●万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
　感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

●殺虫剤等の引火物の噴霧は行わないでください。発火により火傷のおそれがあります。
●布や紙等燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。 発火の原因となります。
●照明器具には寿命があります。設置場所により環境ストレスはことなります。ご使用期間が１５年に満たなくても発錆があればすぐに点検・交換をしてください。また、設置して※１５年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をしてください。
　※使用条件は周囲温度３０℃、１日１２時間点灯です。
●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
●１年に１回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
　３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
　点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

保証について

１：保証について
　この商品の保証期間は１年間です。エバーライトユニットは３年間です。
　但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
２：保証書について
　保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
３：補修性能部品(電気部品)について
　弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品) を製造打ち切り後、６年間保有しています。
　補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れについて

⚠ 注意

・必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。
・器具の反射鏡を開けての作業は行わないでください。
**　必要な場合は、電気工事店にご依頼ください。ランプ破損時、事故の原因となります。**

●器具の清掃について ……………… 汚れを落とす場合は、石けん水をひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
アルカリ系洗剤、シンナー・ベンジンでふかないでください。
変色・変質の原因となります。
強い水圧をかけての清掃はしないでください。
感電の原因となります。

●ランプについて ………………… 万一、衝撃などにより、ランプが破損してしまった場合のランプ補修は、販売店・電気工事店にご相談ください。

定　格

	電　圧	入力電流	消費電力	周　波　数	ランプ電力
エバーライト140	AC100－242V	1.65－0.70A	160－155W	50Hz／60Hz 共 用	140W
エバーライト50		0.58－0.24A	57－55W		50W

パナソニック株式会社　施設・店舗照明ビジネスユニット　〒571-8686 大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先　パナソニックお客様ご相談センター　0120-878-365（フリーダイヤル）　0120-878-236（FAX）

MN0810-020112